



市政記者クラブ加盟社 各位

盛岡市と姉妹都市カナダ・ビクトリア市の カーリングクラブが姉妹クラブ提携！

ビクトリア・盛岡友好協会や関係者による長年の働きかけを背景に、両市のスポーツ交流の一環として、カーリングを通じたクラブ間連携の機運が醸成されていました。盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携 40 周年記念事業で相互訪問や交流を行った盛岡カーリングクラブとビクトリアカーリングクラブが、カーリング競技を通じた国際交流及び競技振興を目的とし、姉妹クラブ提携を締結しました。このような事例はこれまでになく、本提携は、姉妹都市提携 40 周年を契機としたスポーツ分野における具体的な成果の一つといえます。

記

1 令和7年度における両クラブの交流内容（姉妹都市提携 40 周年記念事業）

(1) 第 20 回ビクトリア杯カーリング大会

実施期間：令和8年2月28日（土）～3月1日（日）

実施場所：盛岡市アイスリンク

参加者数：117 人（うち外国人 4 人）

主な内容：ビクトリアカーリングクラブから 1 チーム（Team Skura 4 人）が来日
大会参加、盛岡市内視察及び盛岡市長表敬訪問を実施

(2) ビクトリアカーリングクラブ主催大会への参加

大会期間：令和8年3月26日（木）～3月29日（日）（現地時間）

実施場所：カナダ ビクトリア市内

参加者：盛岡カーリング協会 小守林 靖一 副会長

(3) 姉妹クラブ提携の締結

日 程：令和8年3月27日（金）

場 所：ビクトリアカーリングクラブ内クラブハウス（ビクトリア市内）

出席者：盛岡カーリング協会 副会長 小守林 靖一

ビクトリアカーリングクラブ GM James Keough

理事長 Paul Addison

その他 関係者数名



2 姉妹クラブ提携の主な合意事項

- ・ ツインクラブ／シスタークラブ協定の正式締結
- ・ 相互訪問（ユース・学生・チーム）及び親善試合・クリニックの実施
- ・ 指導者交流及び技術共有
- ・ 姉妹都市及び関連団体との連携強化

本提携により、両市間のスポーツ交流の更なる発展が期待される。盛岡カーリングクラブは、今後も本提携を生かし、国際交流、競技力向上及び次世代育成に取り組んでいく。

3 姉妹クラブ提携の経緯

ビクトリア・盛岡友好協会のビル・マクレディ会長は両市の各種スポーツ団体に対してパートナーシップ提携の締結を働きかけていたが、なかなか進まなかった。

冬季五輪長野大会においてカーリング日本代表のヘッドコーチを務め、その後もカナダ代表のヘッドコーチを歴任し、同国の金メダル獲得にも貢献したエレイン・ダグ・ジャクソン氏はビクトリア市在住であった。同氏は長年にわたり日本とカナダのカーリング交流に関与しており、長野県軽井沢町においてカーリング・クリニックを実施する案内が盛岡カーリングクラブに対してなされ、盛岡カーリングクラブはジュニアチームを派遣していた。

平成27年 姉妹都市提携30周年の年であり、かつこの年に供用開始となった盛岡市アイスリンク（みちのくコココーラボトリングリンク）の柿落としも兼ねて、ビクトリアカーリングクラブに所属する数チームが盛岡を訪れ、カーリング競技を通じた初の交流を実施した。

その後、ビル・マクレディ氏とエレイン・ダグ・ジャクソン氏との間でやりとりがあり、両氏はビクトリアカーリングクラブに対し、盛岡カーリングクラブとのパートナーシップ提携締結を推奨した。

令和元年 ビクトリアカーリングクラブから盛岡カーリングクラブあてに「海外カーリングクラブとの初の姉妹クラブ提携を検討したい」との打診があった。

令和2年 ビクトリアカーリングクラブ主催大会（Soo Long Bonspiel）への招待を受けたことから、盛岡カーリングクラブがカナダへ渡航し姉妹クラブ提携交渉及び調印を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により保留となった。

令和6年 盛岡カーリングクラブ会員の一人が海外研修の一環としてビクトリア市に滞在することとなり、滞在中にビクトリアカーリングクラブでのカーリング競技実施について希望があり、そのことを契機とし、両クラブ間での情報交換が再開され、再度姉妹クラブ提携に向けた機運が醸成された。

令和8年 ビクトリア市内において、姉妹クラブ提携を締結（3月27日）

4 本件に関する問合せについて

担 当：盛岡カーリング協会 副会長 小守林 靖一

E-mail：moriokawct@gmail.com

【問い合わせ先】

文化国際課長 じょうもり 城守 まゆみ
電話：019-626-7524（直通番号）

